

# 県国保大幅引上げを答申



# 保険料算定は技術的助言。保険料は市町で

## 米原市民報

日本共産党米原市会議員  
山脇正孝 Tel.52-1093  
日本共産党湖北地区議員団  
事務局藤田正雄 Tel.55-1128

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

1月31日国民健康保険運営協議会は滋賀県が算定した国民健康保険納付金および標準保険料に基づき答申を行いました。この結果に基づき日本共産党滋賀県議員団と地方議員団は6日に知事に申入書を提出し保険医療課との交渉を持ちました。市町は算定に基づき来年度の保険料(税)を3月または6月議会や告示で決定する見込みです。

### 県平均1.799円、9.99%の大幅引上げ

県の標準保険料の算定結果は平均1人当たり年額142,799円としています(別表)。これは18年度と比較して11,782円増(8.99%増)と大幅な伸びとなりました。共産党議員団は対県交渉の中で次の4点を強く申し入れました。①「均等割」「平等割」の抜本見直しを政府に求めること。②「標準保険料」は県の技術的助言であり、市町の裁量を保障すること。③県の一般会計からの繰入を行うこと。④子どもにかかる調整交付金は全額市町に交付すること。

この中で県は保険料決定は市町の権限であり、標準保険料は技術的助言であるとしていました。

また、今回の保険料の算定基礎となった前提条件の医療費の伸びが国の予算では1.7%なのに滋賀県では2.7%となっていることについて積算の根拠を求める意見がされました。このことについて県はいまいな答弁に終始しました。

現在米原市の国保基金は2億8千万円あります。国の財政について県が責任を持つ保険者となった今、そのまま実施すれば、昨年度以上の国保税額となってしまう。

### 基金の活用で一般会計繰入金

この基金の活用が強く求められています。また、米原市で制度化していた国保の保健事業についての一般会計繰入等が強く求められます。



別表1 仮係数との比較	仮係数	確定係数	増減 (確定係数- 仮係数)
1人当たり標準保険料	143,207円	142,799円	△408円
対前年度増減(額)	12,190円	11,782円	△408円
対前年度増減(率)	9.30%	8.99%	△0.31%

県内各市町の算定結果は図2のとおりです。米原市においては、昨年度市民の強い要求で国保税は1人当たり平均1万円の国保税引下げを実現しました。しかし県が算定した引上げをそ

### 米原市18・19年度国保料

図2	18年度1人当たり保険料		19年度1人当たり保険料		18・19年度比較	
	18年度1人当たり保険料	19年度1人当たり保険料	差・円	伸び率%	差・円	伸び率%
米原市	120,609	132,785	12,176	10.10		
大津市	134,340	146,722	12,382	9.22		
彦根市	134,156	144,895	10,739	8.00		
長浜市	122,948	136,972	14,024	11.41		
近江八幡市	131,836	143,566	11,730	8.90		
東近江市	126,006	138,017	12,011	9.53		
草津市	137,796	152,561	14,765	10.72		
守山市	130,135	141,752	11,617	8.93		
野洲市	138,154	145,179	7,025	5.08		
湖南市	123,429	136,440	13,011	10.54		
甲賀市	132,414	142,118	9,704	7.33		
高島市	119,544	130,523	10,979	9.18		
栗東市	145,261	153,281	8,020	5.52		
日野市	119,072	133,119	14,047	11.80		
竜王町	143,277	155,121	11,844	8.27		
愛荘町	130,516	140,124	9,608	7.36		
豊郷町	117,130	112,630	▲4,500	▲3.84		
甲良町	109,856	112,834	2,978	2.71		
多賀町	131,908	141,745	9,837	7.46		
市町平均	131,017	142,799	11,782	8.99		

### 雑感

2・3実弾演習するな！オスプレイくるな！辺野古新基地つくるな！日米合同演習反対！野大集會が高島市民会館で開催された。米海兵隊のオスプレイが駐機している三重県明野駐屯地や演習に参加している福知山の自衛隊第7普通科連隊の地元の人々も連帯のあいさつがされた。皆さんがはつきり言っているのは「米海兵隊はアフガン戦争やイラク戦争で証明されているように海外での殴り込み専門の部隊であり、決して日本を守ることを任務としていない」「その海兵隊のオスプレイから自衛隊員が降りてく姿は、日本共同作戦がここまで進んでいるのか」と。国民が知らぬ間に戦争に突き進んでいる。安保法制は即廃止を！